

チャペル週報

互いに愛し合うことのほかは、だれに対しても
借りがあつてはなりません。

人を愛する者は、律法を全うしているのです。

(ローマの信徒への手紙 13:8)



2009.6.15~6.19 No.10
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

-
- 6月15日(月) 神 今井孝司(神4)
経 讚美歌と校歌に親しもう① 関田義之(経済学部OB)
人 音楽チャペル 聖歌隊
短大 聖書物語「二人の友だちナオミとルツ」
-
- 6月16日(火) 神 岩野祐介(神学部助教)
文 アンдреラス・ルスターホルツ(宗教主事)
社 春の音楽チャペル:聖歌隊
法 栗林輝夫(宗教主事)
経 讚美歌と校歌に親しもう② 関田義之(経済学部OB)
商 永田雄次郎(文学部教授)
教 音楽チャペル バロックアンサンブル
総 西本昌二(総合政策学部教授)
-
- 6月17日(水) 神 浅野淳博(神学部准教授)
社 上ヶ原フィルハーモニック
法 山内一郎(名誉教授・元院長)
経 讚美歌と校歌に親しもう③(最終回) 関田義之(経済学部OB)
商 音楽チャペル(聖歌隊)
人 音楽チャペル グリークラブ
理 賛美礼拝 関西学院室内合奏団
総 松田康之(神戸YMCA三田センター所長)
短大 山口理一(キャリアセンター分室)、寺前時恵(人文学部グローバルコミュニケーション学科)
-
- 6月18日(木) 神 バロックアンサンブルによる音楽礼拝
文 ルース・グルーベル(関西学院院長)
社 幸せて何だろう① 関嘉寛(社会学部准教授)
法 平和について考える 足立力也(コスタリカ研究家)
経 音楽チャペル 聖歌隊
商 English Chapel Richard J.Stinson(宣教師)
Sandian Brass讚美 総合政策学部学生
短大 原真和(キリスト教教育・保育研究センター教授)
音楽の献げもの:山田陽子(情報システム室分室)
-
- 6月19日(金) 院 山本圭子(文学部教授)
神 森哲(日本基督教団牧師)
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 オルガンの調べに親しもう④ 太宰まり(関西学院チャペルオルガニスト)
人 大切なこと⑤ 才村純(人間福祉学部教授)
教 田淵結(宗教主事)
理 人権特別礼拝「車いすと夢」松本尚男(宝塚ぶらざこむ運営委員、宝塚市ボランティアセンター運営委員)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

6月19日(金)初等部のために 磯貝曉成

◇総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40～ 於:宗教主事室

歌の翼

鮎川 潤

クリスマス・イブにクリスマス・キャロルをはしごするというのは初めての経験だった。半年前、イブの午後はケンブリッジ大学キングズ・カレッジのクリスマス・キャロルを、夜はイリ大聖堂のクリスマス・キャロルを聴いた。

キングズ・カレッジのチャペルで行われるクリスマス・キャロルはBBCを通じて全英に放送されるのが恒例となっているもので、整理券は朝早くにはけてしまっていたが、なんとか入場することができた。清楚な外観と高い天井の繊細な装飾を持ち、ケンブリッジ大学を象徴する建物としてしばしば絵葉書にも登場するチャペルに響き渡る男声合唱は荘厳なものであった。

イリはケンブリッジから列車で20分ほどのところにある清教徒革命のオリバー・クロムウェルゆかりの町で、英国が誇るカテドラルがある。深夜のクリスマス礼拝に出席すると、平日よりはるかに早くに終電となる列車に間に合わないため、クリスマス・キャロルだけで帰路についたが、後で聞いたところでは、近年参拝者が増えているため礼拝の回数を増やしたにもかかわらず、深夜の礼拝も満員になったとのことであった。ケンブリッジ大学の30に及ぶカレッジでは毎夕方、聖歌隊によるイブソングが行われ続けてきている。

宗教と歌はどのような関係にあるのだろうか。確かに仏教には声明があり、和声のような僧の読経に驚いたこともある。しかし、仏教の伝統として一般信者による合唱隊というのは聞かない。

キリスト教では、神を賛美するという僕としての行為が、やがて主体的に歌うという信者の表現行為を生み出していったのではないだろうか。さらに他方で、可能な限り広い音域をカバーする楽器の創作へと向かわせたのではないだろうか。

関西学院大学では、聖歌隊、グリークラブからゴスペルに至るまで、幅広い合唱グループが活躍している。クリスマスには「関西学院 at ザ・シンフォニーホール」も行われる。

昨年度、ケンブリッジ大学へ半年間留学する機会を与えてくれた関西学院に感謝したい。チャペルや教会での合唱を聞き 素人としての知識と経験に基づくものではあるが 空高く舞い上がっていく想像の翼が与えられた。

(法学部教授)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスのランバス記念礼拝堂では、学生音楽団体による恒例のミニコンサートが開かれています。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

6月16日(火) 関西学院大学交響楽団弦楽アンサンブル

6月23日(火) 関西学院聖歌隊

いずれも12時50分から13時20分まで。

●夏の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、夏の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いいたします。

期 間：6月15日(月)～19日(金)

受 付：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●2009年度大学主催春季人権問題講演会のお知らせ

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む

「絆が人を生かすから－今日における二つの貧困とホームの創造」

と き：6月19日(金)11:10－12:40(神戸三田) 15:10－16:40(西宮上ヶ原)

と ころ：神戸三田キャンパスⅡ号館102号教室

西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール

講 師：奥田知志氏(日本バプテスト連盟 東八幡キリスト教会 牧師、

NPO法人 北九州ホームレス支援機構 理事長)

「キャンパス内における勧誘と信教の自由」

と き：6月25日(木)13:30－15:00

と ころ：西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール

講 師：山口貴士氏(弁護士、日本脱カルト協会理事)

●2009年度人権教育研究室第1回公開研究会のご案内

と き：6月22日(月)15:15－17:15

と ころ：関西学院会館『光の間』

発 題：「死刑と人権」

報告者：トシ・カザマ氏(在米写真家)

司 会：阿部潔(社会学部教授)

●大阪梅田キャンパスチャペル

6月19日(金) アンドレアス・ルスターホルツ(文学部宗教主事)

6月26日(金) 樋口 進(宗教センター宗教主事)

いずれも18:00～18:20

●ランバスチャペルアワーのお知らせ

学部の枠を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。

と き：6月23日(火)10:35～11:05

と ころ：西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

テーマ：「音楽の喜びと癒し」